

リン酸オセルタミビル

8

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない×)	意識喪失 後に発現した 異常な行動	試験室の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	面談までの 時間	二回以上 完全回復	体温	最高体温 ℃	経路異常等 他の原因	経路異常等 他の原因	一時的に 消失する	発熱・ 異常な行動 発現時の 状況		異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたのか?本人が幻覚を見たのか。 顔が幻覚を見ていたように感じたのか?)	旧資料No	
66	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/3/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。発熱後、数時間後に異常行動発現(非重篤)。ベランダの方へ歩き出し、段が、取り付かず大木に至らず。左右どちらにも倒れず、段のわかないことも言っていたとのこと。	49	
67	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/24	夜	○	—	—	Yes	—	—	—	—	—	No	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発熱時自他発見済:発熱39.3/39.3/39.3℃、鼻血状鼻水、鼻づまり、しゃやみ。 2007/3/24 (夜)本剤投与。異常行動発現(非重篤)。眠床中、ムクツと起きる?壁に膝け上がった。壁につられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 本剤投与中止。 2007/3/28 インフルエンザ回復	50	
68	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	x	—	—	4日間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	2007/2/24 (10:00)発熱(38.4℃)あり。解熱あったが、元気に過ごしていた。 2007/2/28 (12:00)本剤40.5mg内服。(18:00)37.6℃、いつもより落ち着かない感じがかった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃、布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1分ほどを何周も回り回りし、理解できない怪異を感じていた。ついに、スベ飛び出そうとして、家人が取り付かず、理解できない怪異を感じていた。この時の記憶は残っていない。理解できないひとりの言葉を口走っていた。(18:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日より比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/2/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/3/19 インフルエンザに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服用後1時間程度経過後におかしな行動(フラッシュ)でいうとした、顔がかかっていて本人フラッシュしてあげられなかった。同日症状回復。 2007/3/21 本剤投与終了。	51	
69	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/19	—	x	—	—	Yes	—	—	—	—	—	No	2007/3/19 インフルエンザに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服用後1時間程度経過後におかしな行動(フラッシュ)でいうとした、顔がかかっていて本人フラッシュしてあげられなかった。同日症状回復。 2007/3/21 本剤投与終了。	52	
70	B07013377	7	年	女性	異常行動	2008/2/21	—	2008/2/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2008/2/21 タミフル(病歴不明)の投与を開始 2008/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに書いてあったテールの上に乗ってヘラヘラ笑っていたとのこと。	53	
71	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 不安	2007/3/5	18:00	2007/2/5	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/5 (18:00)直感発症し、インフルエンザAと診断。(18:00)本剤40mg×1回の投与開始。(20:00)精神症状(幻聴)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こいつ」字句へ行く等、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行こうとする行動あり。誤判誤喝へ電話が入り、家族と、症状が続くなら救急病院への受診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時に問題点のみならず、解熱剤使用の処方を受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)再度再診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言があったというが、来院時は消えていた。一方、鼻汁、喉痛を訴え、ホウクリンテープ1mg/日、ボラネックス 250mg/分、アスピリン錠180 0.4g/日分3回処方された。以降安眠なし、回復したものと思われる。	54	
72	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	—	—	—	Yes	—	—	No	No	No	No	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 39.3℃の発熱で来院。インフルエンザAと診断。以前、熱性産物を起こしたことがある。明白アトピーが強いため、インフルエンザの予防接種は不可能。本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くのと母親は思ったが、玄関に向かっていき、その後ベランダに向かい走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、肩してくれと叫び、服など濡れた。異常行動 発現。 母親が母向に電話し、泣いている姿をみて涙に変わったように「どうしたの？」と言った。異常行動 回復。 母親がそのとき抱きかかっていた感覚では触れなかった様子。翌日から本剤投与中止。	55	
73	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/12/15	19:00-20:30	x	—	—	18時間30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	2007/12/15(19:00-20:30) 睡眠中、突然立ち上がり、都度内を歩道のように歩き回った。	56	
74	B07023857	7	年	男性	異常行動	2008/1/29	12:30	2008/1/29	13:30	○	Yes	—	Yes	発熱持続中	—	—	—	—	No	2008/01/29 (12:30)本剤内服後就寝。体温:39.3℃。(13:30)起きてトイレに行った。母親に話しかけると言った。 トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝かせた。 本剤服用は1回のみ。	57	
75	B07025434	7	年	男性	異常行動	2008/2/12	13:00	2008/2/12	—	○	Yes	30分以内	2時間	Yes	不明	No	No	—	No	2008/02/12 (11:30)39.2℃。 (18:30)インフルエンザA型治療のため、本剤154mg投与。 (18:30)異常行動(暴言)を発したことを母親が確認した。約30分後に腰から立てているところを発見された。うつろい目で怖々としていた。尿失禁まであり、風呂場へ行ったらこぼれ下のほうから強い、洗濯物が強い」と泣いた。異常行動(非重篤)発現。シャワー浴後に就寝した。 2008/02/12 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)寒戦時、顔が青ざると、口を閉じて震える。幻覚(非重篤)発現。(16:00)呼吸をあげて走り回る(非重篤)。 2008/02/04 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)寒戦時、顔が青ざると、口を閉じて震える。幻覚(非重篤)発現。(16:00)呼吸をあげて走り回る(非重篤)。 2008/02/05 (午前)解熱。正常に戻る。音声をあげて走り回る。幻覚回復。 2008/02/10 インフルエンザ回復。	58	
76	B07028155	7	年	男性	異常行動 幻覚	2008/2/4	12:00~18:00	2008/2/4 2008/2/4	22:00 16:00	○	—	1hr	数分	Yes	発熱持続中	No Yes	No	No	—	血友病	2008/02/04 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)寒戦時、顔が青ざると、口を閉じて震える。幻覚(非重篤)発現。(16:00)呼吸をあげて走り回る(非重篤)。 2008/02/05 (午前)解熱。正常に戻る。音声をあげて走り回る。幻覚回復。 2008/02/10 インフルエンザ回復。	59

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

リン酸オセルタミビル

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	症例番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か(就寝中○、 就寝中じゃない×)	意識障害 の有無(意識 あり○、意識 なし×)	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一時的に 完全回復	経過	異常な行 動の頻度	異常な行 動の原因	意識障害 の有無(意識 あり○、意識 なし×)	発熱の有 無(発熱あり ○、発熱なし×)	けいれん の有無(けい れんあり○、 けいれんなし×)	他の一 般検査結果	異常な行 動の内容	旧資料No.	
84	B05006977	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28 10:00, 22:00	2005/3/28 17:00 12:00 22:00	x	No	-	数時間 2-3時間の 間に2回	Yes	発熱持続	No	No	-	No	No	No	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 誰かが幻覚を見ていたように言うているのか?)	58	
85	B05001224	8	年	男性	幻覚 深層羞きのなさ 異常行動	2005/3/18 10:30	2005/3/18 13:30	x	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/03/18 (午前)中絶薬、インフルエンザAと診断。(10:30頃)インフルエンザA治療のため、タミフル55mg x 2日投与開始。その後入院。(13:30頃)意識直後から幻覚などの異常行動が出現。強い思い込みで出てくると言っており外に出ようとする「這日中に再度受診し、生食治療にて症状回復。	57	
86	B05018854	8	年	男性	異常行動	2005/11/13 11:30	2005/11/13 内服1時間後	O	Yes	1時間	1時間	Yes	解熱過程 →?	No	No	No	No	No	No	午後後、突然起き上がり玄関から飛び出していきうとしたため、母親が玄関前で完を制止した。その際に、本人及び兄の名前を尋ねるも全く答えられず、うなり声をあげたりと不穏状態を呈していた。その夜(同日)朝医師の指示を受け、出現がおよそ1時間程度安静になったらしい(これを機に退院したとのこと)。徐々に異常行動も抑制され、次第に記憶も回復してきた。	56	
87	B05021659	8	年	男性	異常行動	2005/12/25 18:00 12月28~28 12月29 1日1回期	2005/12/25 21:00	-	-	-	10分	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2005/12/24 (夜)発熱。 2005/12/25 (14:00)インフルエンザAと診断。タミフルドライシロップ51mg x 2回/日処方。(18:00)オキナゴ1mg、ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(20:30)ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(21:00)入浴に誘いかける。部屋を歩き回る。意味なく笑いつく。九死を繰り返すなどの異常行動が出現し、救急車要請(荷役時間10分)。(21:30)来院時、意識はほぼ清醒(JCS 1-II)、入院。 2005/12/26 解熱。 2005/12/27 退院。 2005/12/28 本剤初内服後、投与終了。	59	
88	B05022280	8	年	男性	異常行動	2008/1/16 13:00	2008/1/16 18:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(18:00)首座を上げる。意味不明な事を言う。話が通じられない。自分の年齢がわからぬ。異常行動出現。(20:00)自決入院。入院時異常行動なし。点滴のみで経過観察。 2008/1/17(19:00)自分で退院後、病棟内で一人でウロウロ歩く。その後入院。以降症状なし。	60	
89	B05022180	8	年	男性	①激怒 ②異常行動	2008/01/30 朝、20:30	2008/01/31 0:00, 6:00	O	Yes	2.5時間後、 9時間後	12時間、6時 間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2008/1/30 インフルエンザAのためのタミフル45mg x 2日投与開始。(20:30)2回目のタミフル服用。38.8℃。(21:30)就寝。 2008/1/31 (08:00)急に天井でめまきながらおきる。父母が話しかけても返事せず。目大々しく見開き音速ではない状態。「行くこ!行くこ!」と大きな声で言いながらベッドや机、椅子の上にも走りジャンプを繰り返すが、父母が抱いてだめで「行くんだ!おいで!」と上ばかりで家中を歩き回る。歩方も運動量のように両手を大きく動かして歩く。(08:15)やっとだめで水分を与えてベッドに横かたつた。ウトウトする。(08:40)再び起き上がり起き下向。38℃。先程起きた時の事覚えていない。(10:00)ウトウト後では泣いて起きている。(10:00)聞こえん。ごめんね。・・・」と小さい声でわがやうい声で繰り返し続ける(普通のとときの声ではない)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ボーっとしている。38.8℃。本剤服用中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から16〜18時間連続した。 (12:00)2度ベッドの上段で手を広げて立ち上がった。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって鳥が動作。意味不明の言葉をブツブツと言う。何度も呼びかけると正気に戻る→暴走心。(14:00)起きると再び意識障害ありトイレに行こうとしてトイレの中で尿失禁→嘔吐。18:00本剤服用。起きると意識障害あり。意味不明のことを言う。精神神経症状。尿失禁(少量)発現。	61	
90	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00, 18:00	2005/12/21 12:00, 14:00, 18:00	O	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	-	-	-	-	No	不明	2008/1/30 インフルエンザAのためのタミフル45mg x 2日投与開始。(20:30)2回目のタミフル服用。38.8℃。(21:30)就寝。 2008/1/31 (08:00)急に天井でめまきながらおきる。父母が話しかけても返事せず。目大々しく見開き音速ではない状態。「行くこ!行くこ!」と大きな声で言いながらベッドや机、椅子の上にも走りジャンプを繰り返すが、父母が抱いてだめで「行くんだ!おいで!」と上ばかりで家中を歩き回る。歩方も運動量のように両手を大きく動かして歩く。(08:15)やっとだめで水分を与えてベッドに横かたつた。ウトウトする。(08:40)再び起き上がり起き下向。38℃。先程起きた時の事覚えていない。(10:00)ウトウト後では泣いて起きている。(10:00)聞こえん。ごめんね。・・・」と小さい声でわがやうい声で繰り返し続ける(普通のとときの声ではない)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ボーっとしている。38.8℃。本剤服用中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から16〜18時間連続した。 (12:00)2度ベッドの上段で手を広げて立ち上がった。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって鳥が動作。意味不明の言葉をブツブツと言う。何度も呼びかけると正気に戻る→暴走心。(14:00)起きると再び意識障害ありトイレに行こうとしてトイレの中で尿失禁→嘔吐。18:00本剤服用。起きると意識障害あり。意味不明のことを言う。精神神経症状。尿失禁(少量)発現。	62
91	B05025720	8	年	男性	異常行動	2008/2/1 21:00	2008/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/2/1 (朝)から発熱。(午前)朝医師受診。インフルエンザA型と診断。タミフル処方。(13:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:30)ニータン錠。両手で何かを抱えようとする。異常行動出現。(22:20)救急車で来院。入院。JCS Ⅱ-1。曜日を開聞える。(夜間)ベッド側面より起きようとしり。意味不明な言葉を発する事があった。 2008/2/2 (朝)意識清明。(日中)解熱。NBT→異常所見無し。 2008/2/3 異常行動後快復。外来で経過観察の予定。	63	
92	B05026722	8	年	女性	精神症状	2008/01/18 夕方	2008/01/19 深夜 翌、夜間	-	No	-	数分~数十分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	No	無	2008/1/19 発熱:38.8℃。咳、咽頭痛発症が認められたインフルエンザ疑念診断実施。結果:Flu A、サブト、鼻腔(タマ)本剤投与。(54mg/日)(夜更)40℃の発熱とともにけいれんを訴えて起き上がり室内を歩きまわった。中絶神経症状発現。(非重篤) 2008/1/20(夜)37.5℃前後の発熱で同様の症状がみられた。本剤はより投与中止している。(夜)他院受診。シンメクトールを処方された。(夜間)うらやみを言った。(体温不明) 2008/1/21(朝)最終中絶神経症状はみられていない。39.5℃ 2008/1/22 末梢37.0℃。咳、鼻症状。咽頭痛あり。中絶神経症状回復。 2008/1/25 末梢35.2℃。咳、鼻症状あり。インフルエンザ回復。	64
93	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 2007/2/24 夜間	2007/2/23 2007/2/24 投与3時間後	O	-	-	Yes	Yes	発熱持続	-	No	-	No	No</				

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	発熱 の有無 (発熱：○、 発熱なし：×)	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	起床までの 時間	一時的に 完全回復 したか	身体運動 の異常	意識の低下	痙攣発作 の有無	嘔吐・下痢 の有無	発汗 の有無	瞳孔 の異常	異常な行動 の持続時間	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たように言っているのか？)	旧資料No	
94	B07000288	8	年	男性	異常行動	2007/3/31 2007/4/1	18:00～19:00 7:30	2007/3/31 23:00～24:00	○	Yes	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/3/30 咽頭痛、左肩の痛み、37.9℃の発熱、インフルエンザ迅速診断(-)、 2007/3/31 38.5℃の発熱、左肩の痛み増強。インフルエンザ迅速(A型、タミフル 42mg×2/日処方。解熱効力は無し。(18～19:00)タミフル1包(42mg)内服。(23～24:00) 解熱をうらやみ歩き回る。急に水遊びを始める。おとなが重いといえる。2階に走って壁 け上がり、寝ていた父親の股を取り上げる。2階より勢いよくかけ降り、外に飛び出して 行きそうになり、父親が押さえて止めた。この間体温は38.5℃程度であった。行動 異常(非重篤)発現。 2007/4/01 (8:30)就寝。(～7:00)普通に寝て後間のことを尋ねるも、覚えてい なかった。(7:30)本剤1包(42mg)内服して翌日にお母さんが報告し来院。以後中止するよう に指示。(9:00)行動異常回復。	66
95	B07001354	8	年	女性	異常行動	2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22 2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	18:00	2007/3/21 23:00	—	No	—	20分	Yes	発熱持続 中 解熱過程	No	No	No	—	No	無	3月21日(夕)本剤服用開始。(23:00)異常行動発現。 3月22日夜間、顔面マスクをはずして、点滅のラインをカチャカチャつづけていた。顔面 マスクとナースコールをつなげようとしており、声をかけると泣きだした。その後、突然 ベッドに立ち上がり、言葉を自己満足。高熱あり。声をかけても反応なし。手をベッドに ぶつける。本剤投与。(23:00)解熱傾向であったが、再びベッドの上に立ち上がる行動 があった。 3月26日(朝)本剤投与。異常行動回復。	67
96	B07003582	8	年	女性	異常行動	2007/4/22	14:00	2007/4/22 15:00	—	No	—	No	No	発熱持続	—	No	No	—	No	無	2007/04/22(10:00)インフルエンザA型と診断。(14:00)本剤内服。(15:00)突然2階に 走っていき、部屋をウロウロする。ずっとウトウトしていた(翌朝まで)。(21:00)本剤内 服。夜間、犬を叩き倒す。物を食べる動作。家の中を徘徊。手を何回も洗う。母のこと をお姉さんと呼ぶ。尿失禁などがみられた。 2007/04/23(10:00)の発熱。熱から一時的に回復し、お母さんとしており呼びかけへの反応も乏しい状 態がみられた。医師外来受診。検査加療目的に入院。脳波上、全般性の慢波を認め、 MRJ所見なし。脳波所見なしであった。 2007/04/24薬量増量となり経過良好。(9:00)37.0℃	68
97	B07013003	8	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25	期 間 夕	2007/2/24 —	—	—	—	—	—	—	No	No	No	No	無	2007/2/24 (タミフル)インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/日の投与。発熱時に認 められた自他覚所見：発熱40.2℃。その他(腹痛)。本剤服用後、異常行動発現。ベッド からとびおりる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う。体温：40.2℃。 2007/2/25 本剤75mg×2/日投与。体温：37.4℃。異常行動回復。 2007/02/26 インフルエンザの経過：経投	69	
98	B07013253	8	年	男性	異常行動	2006/1/27 2006/1/27 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/30 2006/1/30	2006/1/29 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/1/27 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2006/1/28 内服後2階から階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本 剤の投与を中止。 2006/1/31 異常行動は回復。	70	
99	B07013258	8	年	男性	異常行動	2007/1/28 2007/1/28 2007/1/30 2007/1/30 2007/1/31 2007/2/1	2007/1/29 2回目服用 後、5-10分 間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/1/28 夜間 40℃の発熱があり、当施設に運ばれる。A型インフルエンザと診断 され、本剤2日分を処方。1回服用後に嘔吐。 2007/1/29 2回服用後 5～10分の間、経く。その後、ベランダへ出て行った(マシ ョンの10数階)。母親が騒音に気づいた後、騒いでトイレへ駆け込み、大声を上げる。 異常行動(非重篤)発現。本人は一時的に回復した。その後、寝かす。異常行動は 回復。その後、他施設に来院。本剤を3日処方され服用を継続したが、異常なし。 2007/2/1 本剤内服終了。	71
100	B07013304	8	年	男性	意識レベルの低下	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22	2007/3/18 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/18 本剤投与開始(～3月22日)。意識減退が発現。自宅の床に落ちる。意識減 退は回復。	72
101	B07013310	8	年	女性	異常行動	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	207/3/20 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/20 本剤1回投与。投与約2時間後、理由もなく外に飛び出そうとする。異常言 動(非重篤)発現。家族が止める大事には至らなかった。 2007/3/22 異常行動回復。発熱もなくなったために本剤の投与を中止した。	73
102	B07013385	8	年	女性	異常行動	2007/2/20 2007/2/21 2007/2/21 2007/2/22	夕 期 夕 期	2007/2/21 15:00	○	—	—	10分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/2/19 発熱、咽頭痛、頭痛、咳がみえる。 2007/2/20 発熱。朝より38.0℃の発熱。検査にてインフルエンザA型と判定。本剤 49.5mg×2/日、コカール0.85g/回経投。アリジン5ml、アスワート9ml、マクロビリン 7.5ml/日処方。本剤49.5mg/日投与。 2007/2/21 (15:00)寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走 り出して暴れた。異常行動(非重篤)発現。5分後位でおさまる本人はまた寝ていた。 (15:30)異常行動回復。その後そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。本 剤49.5mg×2/日投与。 2007/2/22 本剤49.5mg/日投与。 2007/3/7 (差)発熱。夜中には38.5℃～39.5℃。突然わくのわかない事を大声で叫 び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わ せて居眠した様子だった。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/8 受診。インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を希望。本剤投与とい かんにかかわらず、同様の症状出現。 不明。異常行動回復。	74

リン酸オセルタミビル

菌オセルタミビル	12
----------	----

リン酸オセルタミビル

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試験中か否 か (試験中：○、 試験中じゃない：×)	発熱 の有無	試験中の場 合、試験時 刻から発現 までの時間	発熱 の有無	試験中の場 合、試験時 刻から発現 までの時間	発熱 の有無	試験中の場 合、試験時 刻から発現 までの時間	発熱 の有無	試験中の場 合、試験時 刻から発現 までの時間	発熱 の有無	試験中の場 合、試験時 刻から発現 までの時間	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたかと言っているのか？)	備考No	
121	B07000097	8	年	男性	幻覚	2007/3/25 8:00 17:00	2007/3/25 24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	解熱過程	～	No	No	No	No	2007/3/25 (5:00)発熱38.8℃あり、咳あり。(7:00)キットにてインフルエンザAと判明。タミフル12cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーをムコゴインと混ぜし1/2量内服した(1回分)。(17:00)タミフル12cap(37.5mg)内服。38.4℃。(21:00)就寝。(23:00)突然起き上がり震えるものが降ってくるから逃げると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚発現。 2007/3/26 (0:00)水分摂取させ落ち着かせるが、1時間の間に数回起き上がり逃げようとする。37.9℃。(1:00)再度起き上がり丈夫だと認めるも、震えが止まらずに部屋に落ちてる。寝てくるから外に出ないといけなくて、逃げないといけなくて再度外へ飛び出そうとするのを制止し度かせた。その後数回、合計数十回同様の行動があった。(7:00)誤嚥し軟便した。(10:00)就寝した。夢であったと自覚。異常行動については記憶がない。38.8℃。(11:00)解熱し落ち着いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ軽快・回復。	84	
122	B07000198	9	年	男性	譫妄	2007/3/11 20:30	2007/3/11 21:00	○	—	30分	3時間	No	—	—	—	—	—	不明	2007/3/11 (18:00)38.8℃。(20:30)タミフル60mg内服し就寝。(21:00)その後、突然覚醒し「字に狂歌がある」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時「行かないや」と言って玄関に向かって行った。 2007/3/12 (0:00)緊急車を要請し、救急車が到着した時はほぼ意識もどっていた。37.3℃。(0:25)自家用車で来院。来院時意識清明。	85	
123	B07000202	8	年	女性	異常行動	2007/3/30 12:30	2007/3/30 13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	—	No	No	—	No	No	3月30日 12:30道医でインフルエンザBと診断。自宅でタミフルを内服。その後入眠。(13:00)ワッという声に気づき、ベランダの方へ走るのが見えた。力づくで止めようとするが、「行く」と叫びながらベランダを目指すが、向かっていたに連れ戻わなければならないという声で止まった。その後、5分くらいで意識を取り戻したように、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	86	
124	B07012129	9	年	男性	異常行動 幻覚	2007/4/19 2007/4/19	①2007/4/20 ②2007/4/20 ①7:00 ②11:00	①Yes ②No	Yes/No	—	—	—	—	①発熱持 続 ②解熱過程	Yes	No	No	No	No	2007/2/19 インフルエンザAと診断。 2007/4/20 (7:00)突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人、が追いかけてくるという幻覚。意識清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。 2007/4/23 インフルエンザ回復。	87
125	B07013252	9	年	男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/12	2007/3/9 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/9 本病投与前、異常行動が発現。服用約3時間後に、意を閉じ飛び出そうとした。家人がためのできなきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「集約に行くと答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本病投与前(〜3月12日)。この間、異常行動は認められなかった。	88	
126	B07013257	9	年	女性	異常行動	2007/3/30 夕	2007/3/30 —	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/30 インフルエンザAと診断。本病投与前(〜3月29日)。異常行動(非重篤)発現。夜に30分ほど起きて走り回った。一旦落ち着いたら、再びバシャバシャと走り回った。意識は清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	89	
127	B07013259	9	年	女性	譫妄	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	2007/2/27 20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/2/27 インフルエンザAと診断。本病投与前(〜2月26日)。異常行動(非重篤)発現。夜に30分ほど起きて走り回った。一旦落ち着いたら、再びバシャバシャと走り回った。意識は清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	90	
128	B07013313	9	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	2007/3/17 20:00	○	—	1時間	—	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	2003/3/17 (10:00)発熱38.5℃にて来院。インフルエンザA型と診断。本病175mgの投与を開始(1回分)。本病投与前(〜3月16日)。異常行動(非重篤)発現。夜に30分ほど起きて走り回った。一旦落ち着いたら、再びバシャバシャと走り回った。意識は清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	91	
129	B07013328	9	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27 23:30	○	—	2:30	3:30	No	—	No	No	No	No	No	2007/2/27 キットを家医で実施したが陽性。重症発熱(39℃)の発熱で、インフルエンザと診断し本病投与前(〜2月26日)。本病投与前(〜2月26日)。異常行動(非重篤)発現。夜に30分ほど起きて走り回った。一旦落ち着いたら、再びバシャバシャと走り回った。意識は清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	92	
130	B07013330	9	年	男性	異常行動	2007/3/12 夕	2007/3/13 2:30	○	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/12 インフルエンザA型と診断。本病投与前(〜3月11日)。異常行動(非重篤)発現。夜に30分ほど起きて走り回った。一旦落ち着いたら、再びバシャバシャと走り回った。意識は清明で、後にこの時の記憶あり。(11:00)指図が震えながら震ると、唇の震えがでている。上唇と同様の震えで震っていたとのこと。(13:00)解熱し意識を回復し、意識の回復が出来るようになった。返診で受診後、搬送された。18:00 薬送付。意識は清明。	93	